

平成29年度 地域振興基金を活用した区民活動助成制度（第2回）の審査結果について

1. 目的

品川区地域振興基金を活用し、区内で公益活動に取り組んでいる区民活動団体を対象に、地域の課題や社会的課題の解決に向けた事業に資金助成をおこない、多様な公益活動の活性化を目指す。

2. 審査方法

「地域振興基金活用推進会議」(審査会)による書類審査、面接審査を経て決定。

審査委員：学識経験委員長1名、副委員長1名、公益活動実践者1名、公募委員2名、区職員2名 計7名

3. 審査経過

第1回審査会 平成29年7月14日(金) 第一次審査(書類審査)
第2回審査会 平成29年7月24日(月) 第二次審査(面接審査)

4. 審査基準

申請事業の内容、金額について次の基準で審査を行う。

- (1)事業の目的が明確であるか、具体的に示されているか
- (2)地域ニーズや地域課題、社会的課題を具体的に把握し示されているか
- (3)多くの区民にとって有益な、公益性のある事業目的となっているか
- (4)事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか
- (5)実施体制や責任体制が明確であり、実施内容と組織体制が整合しており、継続的な事業実施が期待できるか
- (6)スケジュールが具体的で、実施可能な計画になっているか
- (7)事業目的に合致し、成果が具体的に(数値、指標、状態など)示されているか
- (8)事業を遂行することにより、団体の自立・成長・能力向上が期待できるか
- (9)実現可能性の高い予算で、収支のバランスがとれ、費用の使途は事業目的に対し妥当か
- (10)積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか

5. 助成金額の考え方

(1)助成額

- ①スタートアップ助成(品川区区内において活動の立ち上げを支援する)
助成対象額の4分の3以内で上限30万円
- ②チャレンジ助成(品川区区内において活動の継続・発展を支援する)
助成対象額の3分の2以内で上限50万円

(2)対象となる経費 謝礼、消耗品費、印刷費、使用料、人件費等

6. 予算 4,000千円(内3,129千円は第1回助成額)

7. 審査結果

申請：8事業

(1) 選定事業 6事業 (スタートアップ助成1事業、チャレンジ助成5事業)

受付番号	事業名	申請団体	総事業費 (助成額)
1	【スタートアップ助成】 クローバーの会ピア・サポート研究会及び実践発表会	クローバーの会 (代表：古川 繁子)	214,000 円 (104,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①高齢者・障害者の居場所や生きがい、また、これらを支えるボランティア活動継続の難しさを解決するため、支え合える地域の掘り起こしを目指す。 ②一般講座(理論+演習)によるピア(仲間)・サポーター(支援)の育成、実践発表会による地域の方々への事例紹介。 ③支える人と支えられる人の居場所と生きがいを創出し、地域へ定着させる。			
3	【チャレンジ助成】 シニア情報生活アドバイザー養成講座	(特非)暮らしのIT普及会 (理事長：小川 純)	193,500 円 (61,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①パソコンやインターネットなど情報技術を活用した高齢者の自立、社会参加・社会貢献のためのサポート体制づくり。 ②一定水準の知識、技能を持ったアドバイザーを養成するため「シニア情報生活アドバイザー養成講座」を開講する。 ③資格取得者に高齢者を対象とした「無料相談、トラブル支援、活用法のアドバイス」の機会を提供し、高齢者サポートの一翼を担ってもらう。			
4	【チャレンジ助成】 新しい八潮音楽祭 (多世代交流と地域づくりを目指して)	(特非)地域の音楽・芸術活動を 支援・制作する会MAPLO (理事長：浜田 均)	339,152 円 (176,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①地域の多世代間交流について、音楽を通して解決する。 ②音楽好きの地域住民が主体となり、八潮音楽祭を開催する。 ③子どもは地域住民としての自覚を持ち、大人は子ども達の安全に寄与する。地域団体と地域住民相互の交流が生まれ、信頼関係が構築される。			
5	【チャレンジ助成】 お話とコンサート	ト音記号の会Ⅱ (会長：片柳 千香子)	259,201 円 (139,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①音楽を通して子育て支援するとともに、立場の異なる方々のコミュニケーションをとる場を作る。 ②地域の学校と連携を図り、荏原第五中学校においてコンサートを開催する。 ③赤ちゃんから年配の方までコミュニケーションをとることで地域の繋がりを深め、地域の活性化に結び付けて欲しい。懐かしい人との再会や子ども達の活躍などで顔見知りが増え、地域の催しに参加したり、災害時等には協力し易い環境が出来てくる。			
7	【チャレンジ助成】 でかけ隊・講演会とコミュニケーション相談会	品川失語症友の会 (会長：上原 英雄)	306,600 円 (151,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①失語症は社会の理解を得ることが難しく社会に参加しづらい状況にある。そこで、失語症者との交流をきっかけに障害者への理解を促し、誤解や偏見のない生活しやすい共生社会を共に作る。 ②失語症者、区民、リハビリテーション関係者を対象とした失語症に関する啓蒙活動のための講演会の開催、失語症者とその家族、支援者を対象としたコミュニケーション相談会を開催する。 ③引きこもりや孤立する失語症の当事者や家族に、仲間との交流を促すことでQOLの向上を図る。また、そこに関わる区民に自然な形で障害者や福祉に関する意識の向上を期待する。			

8	【チャレンジ助成】 地域で日本の文化体験「きみもあそび名人になろう！」	(特非)品川こども劇場 (理事長：巻島 淳子)	209,556 円 (124,000 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①子ども達の遊びはゲーム中心のため、生活の中で創造的活動が乏しくなっている。そこで、地域の大人から遊びを学び一緒に体験することで、創造力やコミュニケーション能力の向上につなげる。 ②こま、けん玉、お皿回し等、日本の昔からの遊び道具を用いて、体と頭を使った遊びを地域の大人から学ぶ。 ③地域の方との交流により、コミュニケーション能力が向上する。遊びを体得する中で達成感を感じる。自信を持つことや創意工夫することの楽しさを体感することで、創造力が向上する。日常生活の中での遊びが受動的から能動的に変化していく。			
合計			1,522,009 円 (755,000 円)

(2)不選定事業 2事業 (スタートアップ助成1事業、チャレンジ助成1事業)
[面接審査] (2事業)

受付番号	事業名	申請団体
2	【スタートアップ助成】シルバー応援隊！	Hooray! (代表：松原 真和)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①高齢者(65歳以上)の独居問題の解消や地域の支え合いを推進する。 ②地域の若者と多世代交流をしながら、体幹運動・ヨガ・予防食の講座、介護者の為のケア講座・趣味の講座・茶話会等を実施。 ③多種の講座で得た技術や高齢者の豊富な経験・スキルを活かしたやりがい・生きがいのある仕事を見出し、シルバーの自立を支えていく。 [不選定理由] ・貴団体のめざす姿とそこに向けた事業計画に対して、現在の実施体制では実現が難しいと判断したため不選定とさせていただきます。		
6	【チャレンジ助成】 ^{すぎはらちうね} 杉原千畝を教材にした人権教育セミナーの開催とスタディガイドの制作	(特非)ホロコースト教育資料センター (理事長：石岡 史子)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③成果>] ①海外からの多くの訪問者を迎えることが予想される2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ホッケーとビーチバレーの会場となる品川区における国際的な人権の意識をより高めていく。 ②迫害から逃れるユダヤ難民を助けた外交官・杉原千畝をテーマにして、人を人として尊重する心を学ぶセミナーの開催とスタディガイドの制作を行う。 ③セミナー参加者から、学校、家庭、地域で人権の大切さを話題にしてみたいという感想を引き出すことを目指し、人権を尊ぶ寛容な地域づくりに寄与する。 [不選定理由] ・貴団体の活動は大変評価するところではありますが、今回の申請事業が、品川区の地域づくりを目的とした事業と判断できませんでした。また、貴団体は既に自立しており、審査基準である「事業を遂行することにより、団体の自立、成長、能力向上が期待できるか」に該当しないため、不選定とさせていただきます。		

8. 今後の予定

助成金交付 9月上旬